

Community School  
コミュニティ・スクール  
(学校運営協議会制度)

---

区教育ミーティング

新潟市教育委員会  
教育総務課



## コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

保護者、地域、学校が一体となって子どもの成長を支える体制を築き、「これからの社会をたくましく生き抜く力の育成」を目指した「地域とともにある学校」づくりを進める制度

学校運営協議会を設置した学校をコミュニティ・スクールと呼びます

学校は地域のみなさまの思いとともに、地域の未来を託す子どもたちを育てていこうと考えています



学校運営協議会に1人配置

# 地域とともにある学校

校長推薦、15人以内、任期2年（再任あり）

CS事務員

## 学校運営協議会 (合議体)

< 保護者代表, 地域住民, 学校支援者など >

### 学校運営協議会の主な役割 (地教行法第47条5)

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができる。
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。

### 学校運営や子どもに必要な支援に関する協議

「熟慮」と「議論」を重ねて課題解決を目指し、将来の地域を担う子どもの育成について、互いの意見を尊重し合い、知恵を出し合う肯定的で未来志向の話し合いを行います。(熟議)

### 目標の共有

協議結果を  
情報共有

承認



説明



意見



説明



## < 校長 >

学校運営  
基本方針  
<教育ビジョン>



学校運営  
教育活動

一学校に一学校運営協議会  
複数校で協議する場合は「合同会」

年4回標準

意見  
・学校運営  
・教職員の任用

## 新潟市教育委員会

CS相談員  
指導主事

## 保護者・地域



理解

支援

## 地域学校協働活動

### 地域と学校パートナーシップ事業

教育ビジョンに照らし、  
パートナーシップ事業や  
協働活動の見直し  
学校支援に必要な  
新たな人材に係る  
ネットワーク再構築



地域教育  
コーディネーター

協議結果を踏まえた  
学校支援



区担当指導主事1人配置

これまでの活動に意味づけ、価値づけ

# モデル校の学校運営協議会から 肯定的で未来志向な話し合いによる効果

- 1 子どもの成長を支える組織的・継続的な体制が構築される  
「持続可能な仕組み」



- 2 子どもを育て、支える当事者意識が醸成される  
「目標の共有、課題解決の方策が見いだされる機関」



- 3 子どもを地域総がかりで支える協働活動  
「互いの行動を生み出す仕組み」



# 学校運営協議会制度

## モデル校における協議内容

- ◎学校運営
  - ・学校教育ビジョン(目標)
    - ☞ 地域の思い
  - ・学校、教職員の現状、課題
  - ・子どもの実態、課題
- 総合的な学習の時間
  - ・地域教材
- 育成協関係
- 周年事業
- 地域と学校パートナーシップ事業
- ふれあいスクール事業
- 学校保健関係
- 地域と学校の協働
  - 協働の視点と取組みの具体
- 子どもと地域を語る会
- その他、課題